

石川県教育支援センター

やすらぎ加賀通信

第151号 2023/12/15

かもまるくん
ですっ。



加賀市標章

相談状況

今年も残すところ10日あまりとなりました。皆さんにとって、今年はどうな1年だったでしょうか？やすらぎ加賀教室では、電話相談の件数が昨年と比べ増加しました。相談内容によっては、SVやSSWと連携し、丁寧で細やかな対応を心がけてきました。

来年は、ウイルス感染症に悩まされることなく穏やかな日々が続くよう願ってやみません。

	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
10月	20	3	7	30	0
11月	16	6	3	25	0

SV 新谷先生の相談日

1月 (19日、26日)

2月 (2日、16日)

3月 (8日、15日)

時間 午後2時30分～4時30分
(全て金曜日)

SC 西崎先生の相談日

1月 (30日)

2月 (27日)

時間 午前8時30分～12時30分
(全て火曜日)

『学校に行けない子どもについて考える保護者の会』

11月24日(金)19:00～20:30 於:加賀市市民会館 2F 会議室

金沢大学准教授の原田克己先生の『学校に行けない子どもとの関わり方』と題した講演の後、懇談・相談会が、実施されました。

開催が心配されるほどの悪天候でしたが7名の参加者がありました。

中には、他のやすらぎ教室主催の会にも、参加された保護者もおられました。

後半の懇談・相談会では、保護者の日ごろの悩みや、子どもへの関り方について、具体的に話し合いがもたれました。カウンセラーの先生方のアドバイスに、真剣に耳を傾ける保護者の姿に、この会の意義を感じました。



加賀フレンドシップ

令和2年度、3年度と中止となっていた加賀フレンドシップは昨年度から再始動することとなりました。今年度は金沢大学の学生3名が、市内小学校、のぞみ教室での児童生徒達の支援のお手伝いに来てくれました。11月1日（水）に初顔合わせがあり、来年1月末まで週1回、それぞれの学校や教室を訪れてくれます。



・原田克己准教授のお世話で加賀フレンドシップのオリエンテーションに参加する大学生の様子。

・教員や臨床心理士を志望する大学生。実りの多い体験になりますように！

SVからのひとこと

やすらぎ加賀教室スパーバイザー

臨床心理士 新谷 真由 先生



みなさん、こんにちは。SVの新谷真由です。
今年の11月終わりに保護者の会がありました。その会では金沢大学の原田准教授のお話があり、その中で、『社会的自立』のための能力を伸ばしていくことの重要性が語られていました。

『社会的自立』といわれて、みなさんはどんなことを思い浮かべますか？
社会の中で自分の力で生きていく、自分らしく人生を歩いていくためにできることをしていく、周囲の協力を得ながら自分も周囲の人を支えていけるようになる、心理・生活・経済など様々な面で自分なりの生き方を見つけていく、様々なイメージがあると思います。

みなさんにとって、どういった『社会的自立』が自分にとっての『社会的自立』なのか、一度考えてみてください。みなさんのこれからの人生がより楽しく豊かなものになっていくヒントになると思います。